



▲犯罪や非行のない明るい社会づくりを誓った関係者

**第66回社会を明るくする運動
犯罪や非行のない社会づくりを新たに誓う**

7月8日、市役所正面玄関前で、「社会を明るくする運動」の内閣総理大臣メッセージ伝達式が行われました。この運動は、罪を犯した人の立ち直りへの理解を深め、犯罪や非行のない明るい社会を築こうとするものです。伝達式では、南元福島保護観察所長から「犯罪や非行を防止し、立ち直りを支える地域のチカラ」と題した安倍首相のメッセージが、園谷副市長に手渡されたほか、放課後児童クラブの児童たちが明るい社会への願いを込めて作った、七夕飾りが展示されました。



▲勝どきをあげる関係者

**アフターDCクロージングイベント
勝どきをあげ更なる魅力発信を誓う**

6月26日、JR新白河駅で、「ふくしまアフターDC（ドスティネーションキャンペーン）」のクロージングイベントが行われました。大信こだま太鼓の演奏とともに、白河歴史文化協会甲冑隊が駅利用者を出迎えました。式典では、一日駅長に就任したダルライザーから、DCを盛り上げた団体の代表者へ、駅長が描かれたピンクの白河だるまが手渡されました。最後には、更なる地域の魅力発信を誓い、同甲冑隊の発声で関係者全員が勝どきをあげました。



▲会場を盛り上げた二人羽織わんこ早食い競争

**第2回県南S・1グランプリinたいしん
多彩な催しとご当地グルメを堪能**

7月9日、大信総合運動公園（大信上新城）で「第2回県南S・1グランプリinたいしん」が行われました。県南地方の11商工会青年部による地元の食材を使ったご当地グルメ対決が行われ、来場者による投票の結果、白河高原清流豚を使用したホッ豚ドックが1位に輝きました。また、各地域のゆるキャラによるイベントや、幅5cm×長さ40cmの「聖うどん」を使った二人羽織わんこ早食い競争など、多彩な催しが繰り広げられ、会場は大いに盛り上がりしました。



▲テープカットの様子

**「ひじりん館」オープン
新たな地域交流・情報発信拠点**

7月2日、大信地域市民交流センター「ひじりん館」のオープニングセレモニーが行われました。この施設は、地域住民が気軽に交流し、食を楽しむ、地元の情報発信する場です。館内には、物販スペース「たにしんの幸商店」や飲食スペース「四季彩キッチン田―Den」のほか、ボルダリングなどが楽しめる子ども広場が設置されています。式典では、オープンを祝い、関係者がテープカットを行ったほか、大信赤十字奉仕団が「大信大黒舞」を披露しました。



▲ハンデル作曲「ハレルヤ」を披露する器楽部と特設声楽部

**中央中落成記念式典
新校舎完成を祝う**

7月12日、中央中で新校舎完成を祝う落成記念式典が行われました。同校は、施設の老朽化への対応と耐震性確保のため、平成25年度から改築工事に着手し、このたび新たな校舎が完成しました。式典では、生徒を代表して和知愛佳さん（3年）が、「素晴らしい環境で学ぶことができうれしい。自慢の校舎を造っていただき感謝します」と述べました。また、器楽部の演奏に合わせて特設声楽部が歌を披露したほか、参加者全員で校歌を斉唱し、落成を祝いました。



▲市長賞を受賞した関根さん

**青少年健全育成推進大会
代表生徒が日頃の思いを発表**

7月4日、市民会館（手代町）で「白河市青少年健全育成推進大会」が行われました。青少年の健全育成などに功績があった方への表彰のほか、「少年の主張」が行われ、各中学校の代表生徒8人が日常生活で感じている思いを発表しました。会場に詰め掛けた在校生や市民の方々は、生徒の熱のこもった発表に熱心に耳を傾けていました。審査の結果、市長賞を受賞した関根佑治さん（南中3年）をはじめ上位入選した5人の生徒は、県大会への出場候補者として推薦されます。